

卒業おめでとう



君たちは3年間 何を学び 何を得たのだろう
情報経営科での学びは 普通教科や情報やビジネスに関する知識とスキルだけではなかった筈だ
「情報」に加え 「情熱」と「情誼(情愛)」についても しっかりと学んだ
君たちは 3年間で とても逞しくなった
蹉跌を経験した仲間もいたが そんな仲間を 君たちは情誼で支えた
君たちはボランティア活動にも 打算なく熱心に取り組んだ
その様な体験や経験は ひとりひとりを見事に逞しくした
新しいステージでも勇躍して欲しい
私たちは孤独ではない お互いに支え合って生きている
これからの人生 いくつもの試練に直面することであろう
しかし そのひとつひとつを 情熱をもってクリアして欲しい
何とかなる と決してつぶやいてはならない
主体的能動的に 冷静沈着に かつ情熱をもって進むのだ
必要とされる人材を目指せ
そのためには ルーティンワークだけではだめだ
厄介で 他人がやりたがらない事にも挑んでみる
目の前のゴミを真っ先に拾う 他人に見せるのではない
自分自身をレベルアップするために行うのだ
潜在能力に満ち溢れる君たちだから
期待を込めて 要求する

グッドラック！

平成 31年 3月 1日

風吹不動天辺月 雪壓難摧澗底松

風吹けども動ぜず 天辺の月

雪壓（お）せども摧（くだ）け難し 澗底（かんてい）の松

嘉泰普燈録より

地上の天候がどんなに荒れていたとしても、天上に輝く月は少しも動じるところなく、悠々と照り輝いている。日頃雨に打たれ、風に吹かれた「澗底の松」、すなわち谷底に育った松は、雪を撥ねのけ、色鮮やかに緑を保ち続ける。

中国南宋時代の禅宗の燈史（歴史書）にある言葉で、どんなことにも動じない確固たる信念、どんな困難に遭遇しても挫けない強い意志の大切さについて綴られています。

人間は本当に無知で弱い生き物であるという「自覚」が大切であり、何事もそれが、原点・出発点であるということは、多くの先人達が私たちに示してくれました。しかし、だからこそ日々の地道な取組が大切であり、ショートカットで成果を求めることは虫のよい話です。

何とかなるという言葉をよく捉えて用いる人もおりますが、私は違います。機会ある度に、皆さんに話してきました。「何とかなる、とつづやいた時、勝負に負けている」と思うのです。

「なにがなんでも、やり遂げるのだ」という確固たる強い意志を持つ経験を積み重ねて欲しいと思うからです。

皆さんのポテンシャルは、自分自身が思っている以上のものがあるのです。

試練に立ち向かう時、自分自身に言い聞かせてください。

「なにがなんでも、やり遂げるのだ」と。 Higuchi

